

お詫びと訂正

月刊薬事2020年2月号『腕きき専門医のもとで修業しないと身につかない 抗菌薬適正使用支援のストラテジー』におきまして、以下の誤りがございました。お詫びして訂正いたします（訂正箇所：アンダーライン）。（編集部）

頁数	訂正箇所	誤	正
121頁	本文上から16行目	<p>6. A型肝炎ワクチン</p> <p>A型肝炎ワクチンは性行為感染症予防、発展途上国への渡航前予防で接種します。特に発展途上国への渡航では最も接種する価値が高いワクチンです。また、これも肝不全患者では急性A型肝炎は致死的になりうるため、積極的に接種を勧めるべきです。</p> <p>PCV13とPPSV23は定期接種以外では脾臓摘出後、同種造血幹細胞移植後や固形臓器移植後などで特に考慮すべきです。免疫が付きやすいPCV13接種後8週間あけてPPSV23を接種することでさらにカバーできる血清型を増やす意図があります。脾臓摘出後ではPPSV23のみ健康保険の給付対象となります。</p>	<p>6. A型肝炎ワクチン</p> <p>A型肝炎ワクチンは性行為感染症予防、発展途上国への渡航前予防で接種します。特に発展途上国への渡航では最も接種する価値が高いワクチンです。また、これも肝不全患者では急性A型肝炎は致死的になりうるため、積極的に接種を勧めるべきです。</p> <p><u>7. 肺炎球菌ワクチン</u></p> <p>PCV13とPPSV23は定期接種以外では脾臓摘出後、同種造血幹細胞移植後や固形臓器移植後などで特に考慮すべきです。免疫が付きやすいPCV13接種後8週間あけてPPSV23を接種することでさらにカバーできる血清型を増やす意図があります。脾臓摘出後ではPPSV23のみ健康保険の給付対象となります。</p>